

平成 28 年 9 月 30 日

国土交通省高山国道事務所

お知らせ

工事現場で小学生が地層を学んでいます

～中部縦貫自動車道の工事現場を理科の教材に～

◆ 概要

高山国道事務所は中部縦貫自動車道高山清見道路の高山IC～丹生川IC（仮称）間において建設工事を進めており、工事現場で地盤を掘削したところでは、太古に形成された上野平の地層を見ることができます。

この工事現場に露頭した地層を教材として、高山市内の小学校6年生が見て触りながら「大地のつくり」について学んでいます。高山国道事務所はこのような校外学習等を通して小学生に土木事業に興味を持っていただくことも期待しています。

日 時：平成28年10月	3日（月）	10：30～	国府小学校	76名
	4日（火）	10：30～	岩滝小学校	4名
	6日（木）	10：45～	西小学校	29名
	11日（火）	10：00～	新宮小学校	73名
	12日（水）	13：40～	山王小学校	95名

※ 国府小学校を除き、雨天決行、見学時間はおよそ1時間です。

※ 岩滝小学校は5年生も参加します。

場 所：高山市丹生川町新張（別紙3参照）

参加者：高山市内の小学生 約300名

◆ 取材について

取材を希望される方は、下記問い合わせ先へ連絡をお願いします。
実施場所等は別紙3をご参照ください。

- ◆ 添付資料
 - 別紙1 中部縦貫自動車道高山清見道路の概要
 - 別紙2 当日の予定
 - 別紙3 実施場所案内
 - 別紙4 上野平の地層について

- ◆ 解禁指定 なし

- ◆ 配布先 高山記者クラブ

- ◆ 問合せ先 高山国道事務所

副所長	坂地 光博	（さかち みつひろ）
工務課長	堀本 広男	（ほりもと ひろお）
TEL	0577-36-3821（代）	FAX 0577-36-3801

道路の異状を発見したら…
道路緊急ダイヤル #9910
(通話料無料・24時間受付)



道路情報の入手に便利です。ご利用ください。
パソコン <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/hidamichi/>
スマホ・携帯 <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/hidamichi/mobile/>



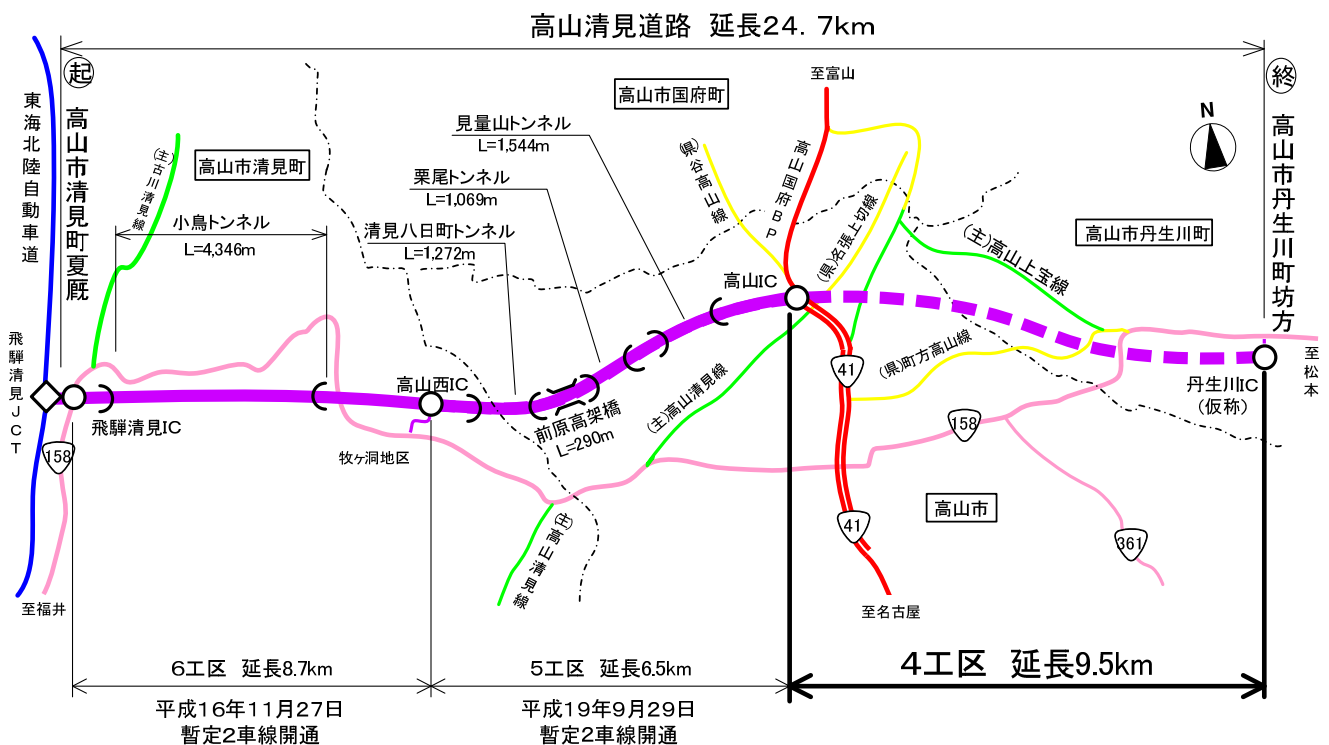
中部縦貫自動車道高山清見道路の概要

高山清見道路は、たかやまきよみ どうろ 高山市清見町夏厩～たかやましきよみちょうなつまや 高山市丹生川町坊方たかやましにゅうかわちょうぼうかた 間の延長24.7kmの自動車専用道路※です。

特に観光期の高山市街地では、通過交通と地域内交通が混在し、激しい渋滞が発生しています。現在は、市街地の渋滞緩和に向け、高山IC～丹生川IC（仮称）間の工事を実施しています。

本年度は、たかやま 高山IC～にゅうかわ 丹生川IC（仮称）間の早期開通を目標に、改良工、橋梁下部工、埋蔵文化財調査、関係機関協議などを推進します。

※自転車、歩行者などは通行することができない道路



当日の予定（全日共通）

- 1) 中部縦貫道の事業説明と上野平の地層について概要を説明します。
(高山国道事務所職員、各小学校教諭より)

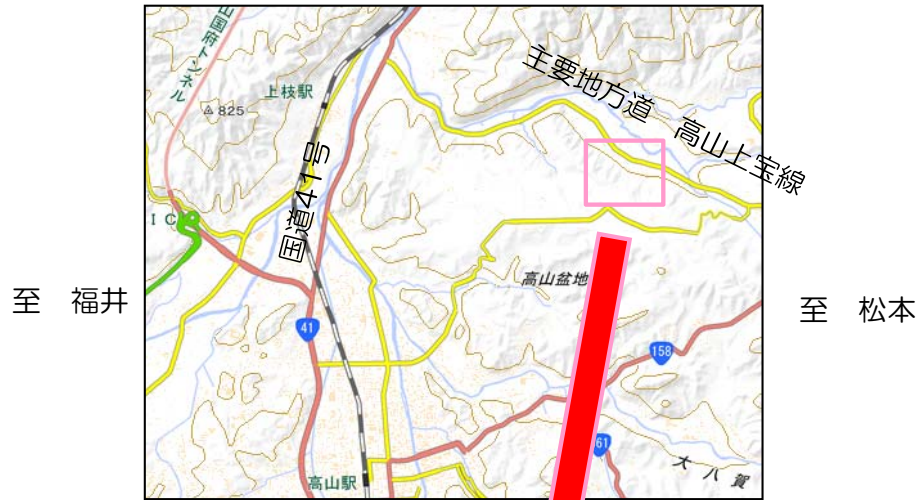


- 2) 児童が地層に近接し、石や砂を採取して観察します。

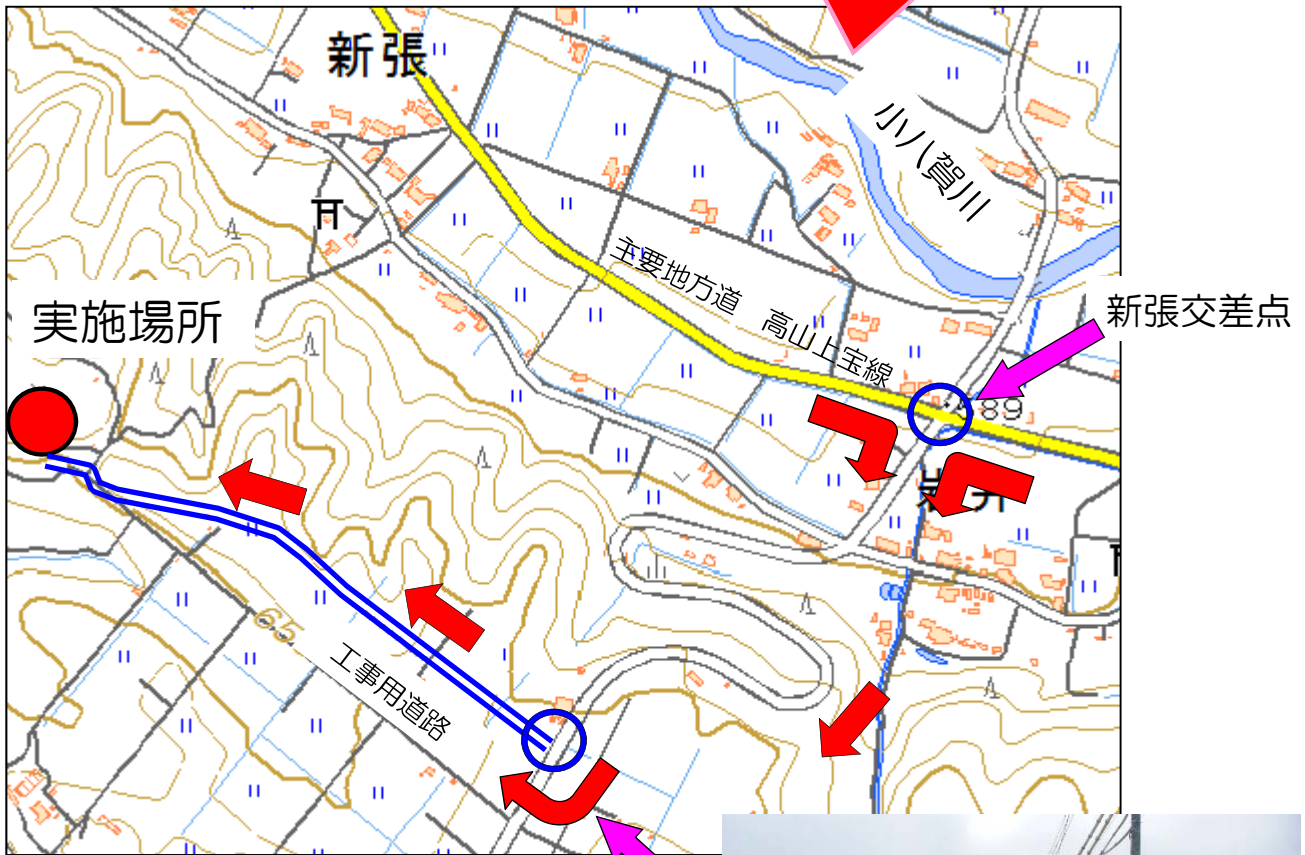


実施場所案内

広域図



拡大図



- 主要地方道 高山上宝線新張交差点を上野方向に曲がり、登り坂を上りきると工事用道路の入り口があります。
(右写真)
交通誘導員がいますので、右折して進入して頂き「取材」とお伝え下さい。
- 工事用道路を進むと、到着です。
- 工事現場内は最徐行（20km以下）での走行をお願いします



火山活動により形成された大地

この地域の大地は主に約300万年前に始まった火山活動により形成されました。
上野泥流堆積物から高山ローム層までの地層は火山活動によって形成されています。



新張上野地区の地層

高山ローム層

- ・火山の爆発によって飛んできた火山灰がたい積。
- ・高山より西側にあった火山と考えられている。
- ・中国地方や九州地方の火山から飛んできたものもある。

上宝火砕流堆積物層

- ・福地付近にあった火山の噴火で火砕流が発生し、かなり高温の状態でたい積した。
- ・ゆっくり冷えて硬い岩になり、厚さが50~250mというところがある。速く冷えて岩にならなかったところもある。
- ・上野平で見られるものは一度たい積したものが、流れる水の働きでたい積し直したのと考えられる。

上野泥流堆積物層

- ・北アルプスの方面の火山の噴火で発生した火砕流が、流れる途中から川の水と混じって泥流となってたい積したと考えられている。
- ・当時の小八賀川は、現在の長野県上高地に流れている梓川からつながっていたと考えられている。

桐山礫層

- ・当時、北アルプス方面から流れていた古い小八賀川の流れる水の働きによって、浸食・運搬・堆積された礫の層。
- ・地層の厚さは80mにも達する。
- ・礫が20~30cmと大きく、時には80cm近いものもある。
- ・よく丸みを帯びている。